

# 少子化対策（子育て支援策）に関するアンケート調査結果

令和5年6月30日

子育て支援課

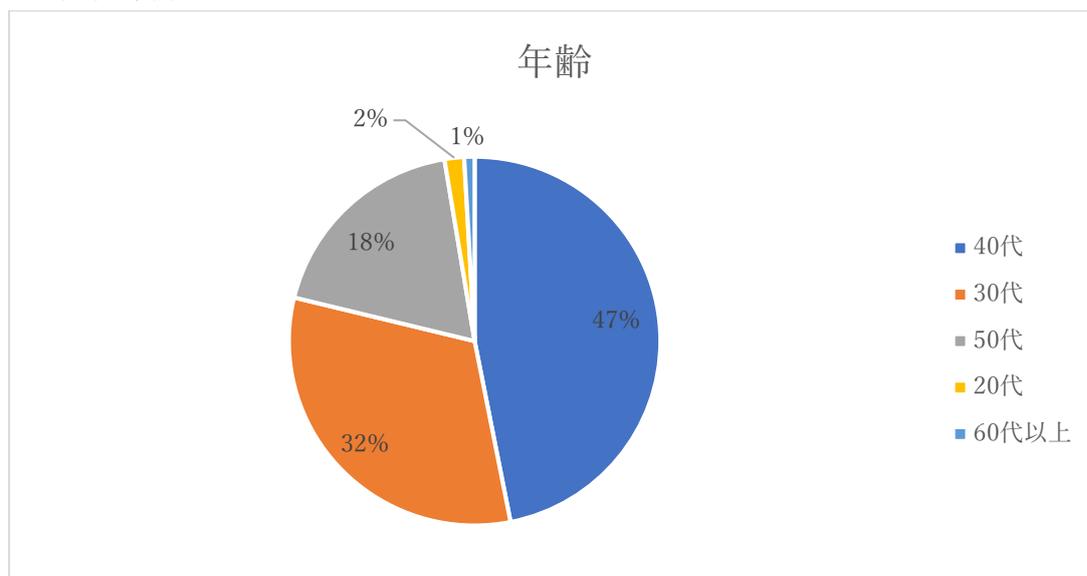
## 第1章 アンケート調査の概要

- 目的：子育て世代がより安心して就労し、結婚、妊娠、出産、子育ての希望を実現できる環境の整備や施策を検討するため
- 対象：保育園児から22歳以下のお子様をお持ちの保護者  
世帯で保護者一人から回答をいただくこととした
- 調査期間：令和5年4月7日（金）～令和5年4月20日（木）
- 調査方法：Googleフォームアンケート
- 回答者：調査対象者数362件 回答者数113件 回答率31.21%

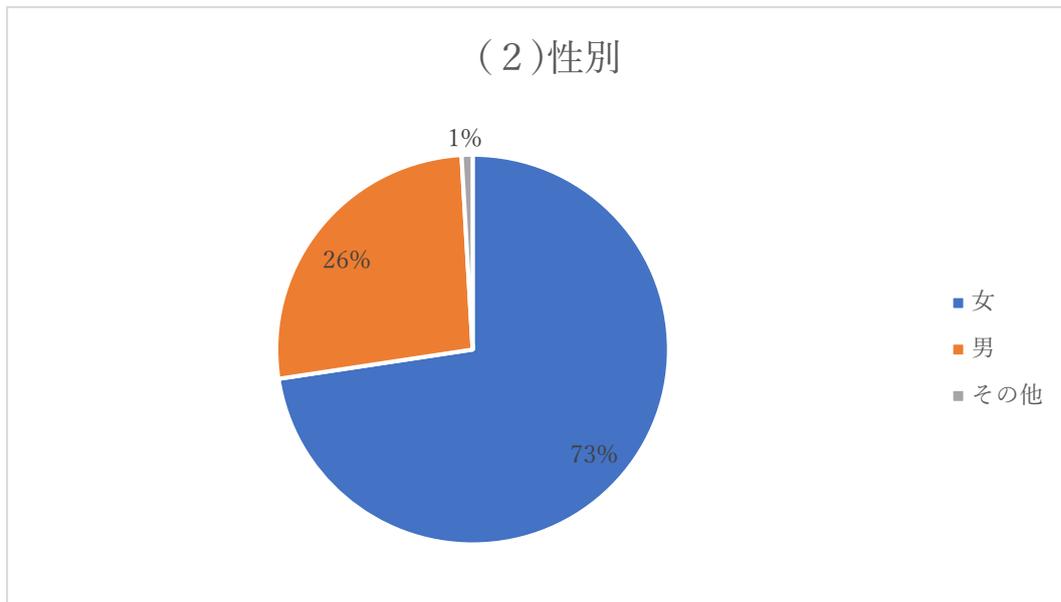
## 第2章 調査結果

### 1 あなたご自身についてお答えください。

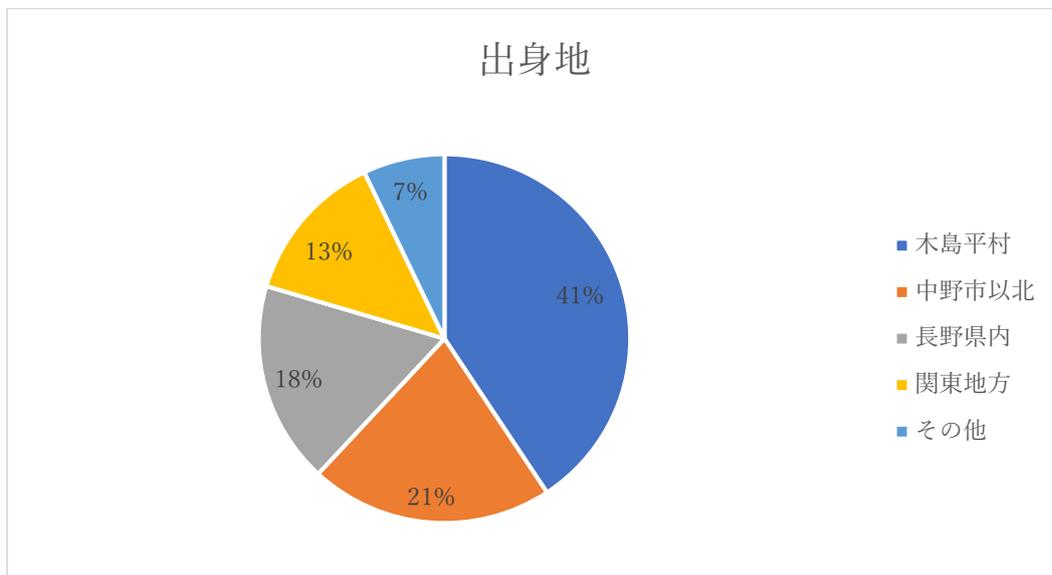
#### (1) 年齢



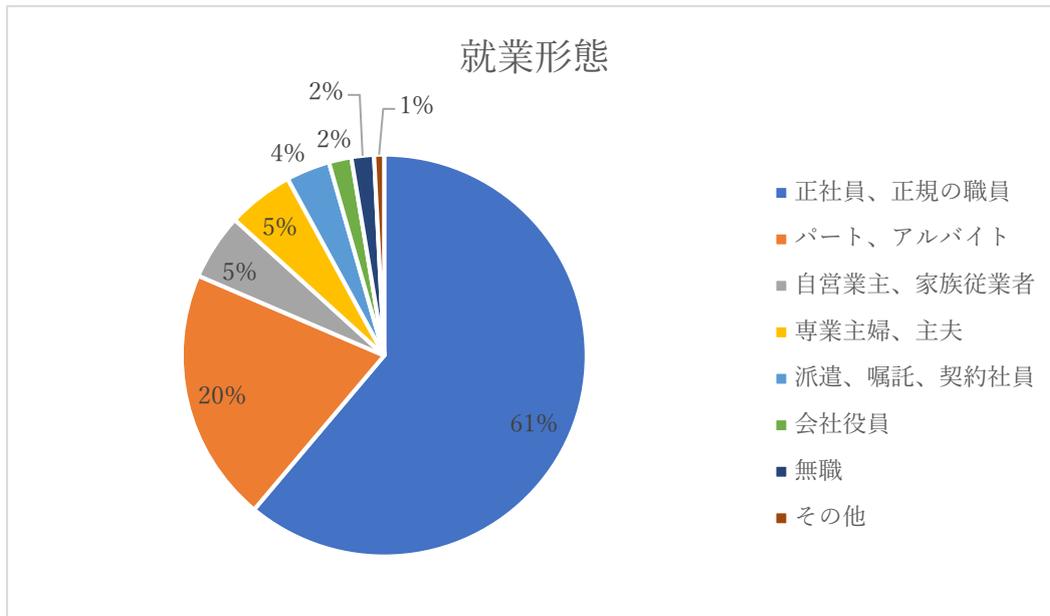
(2) 性別



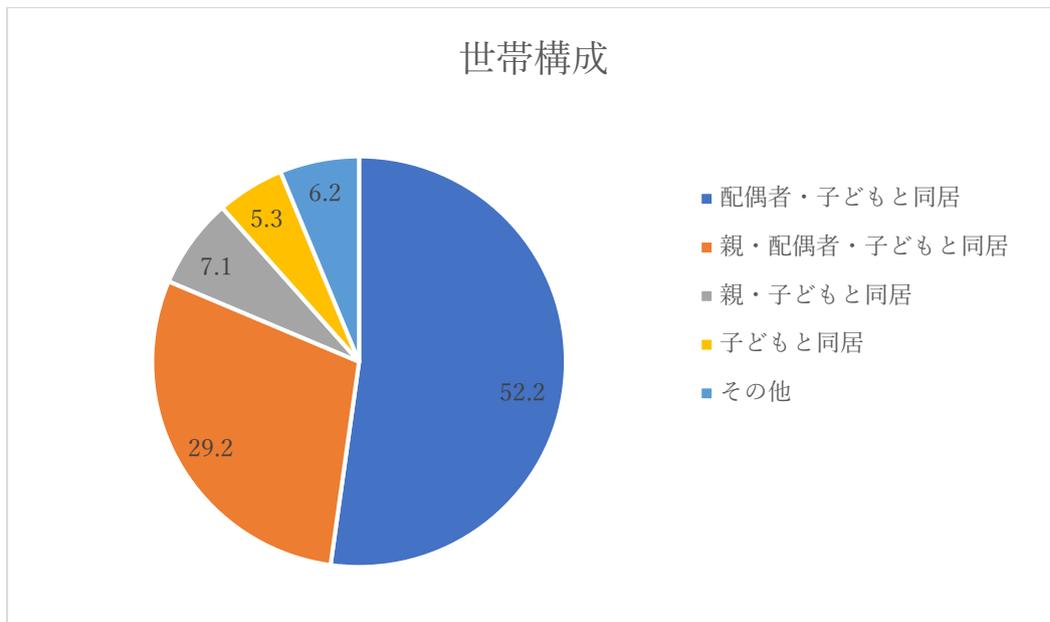
(3) 出身地



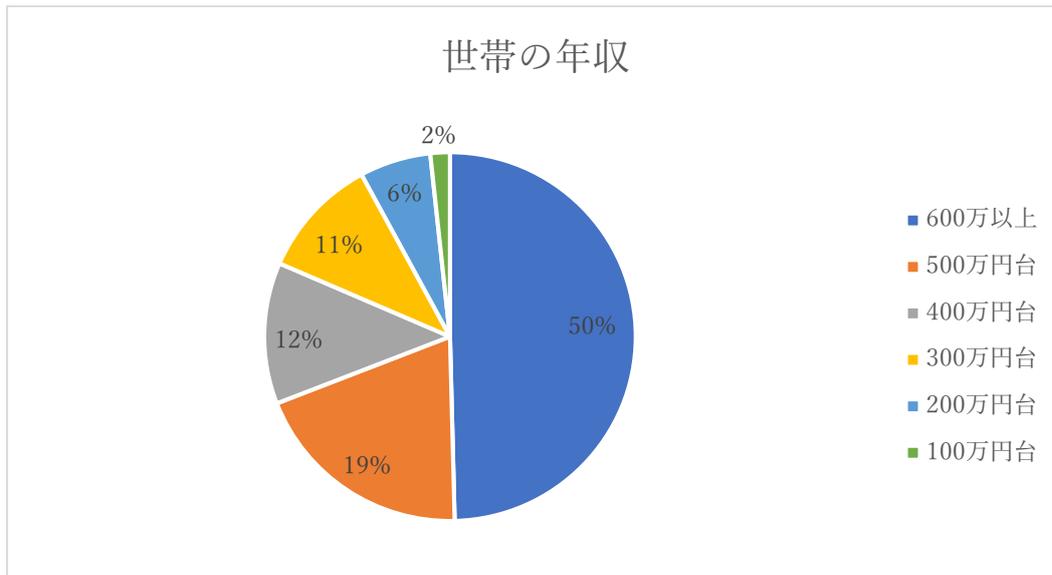
(4) 就業形態



(5) 世帯の構成

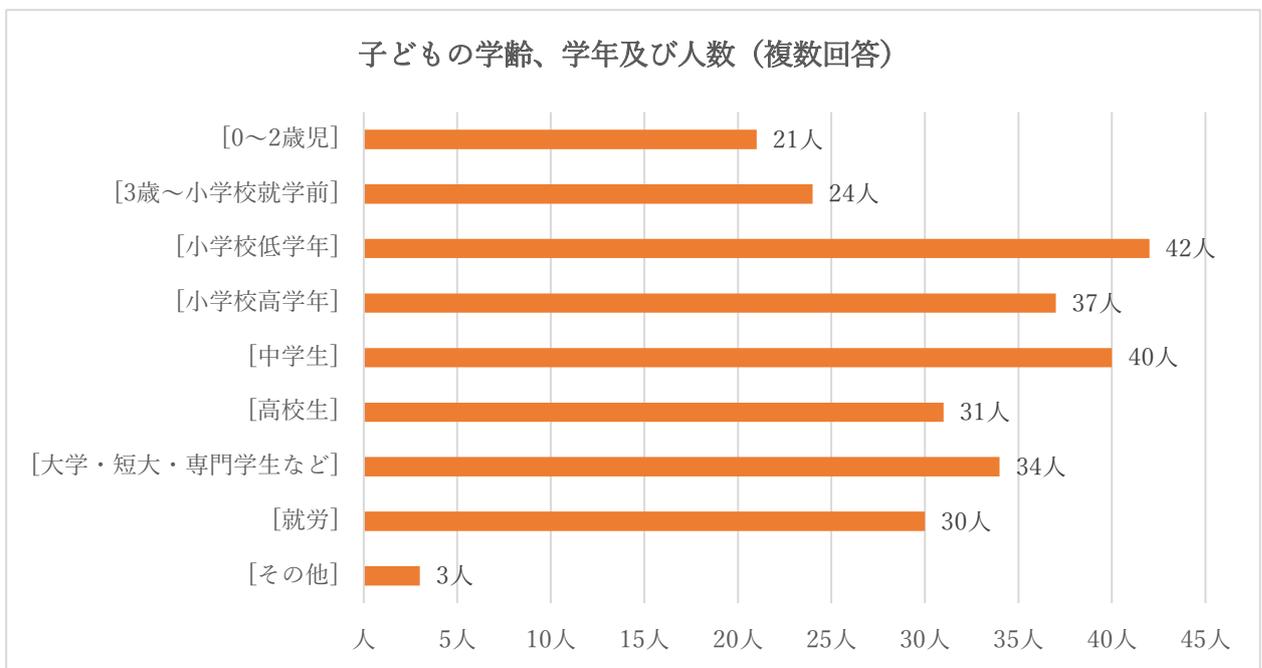


(6) 世帯の年収

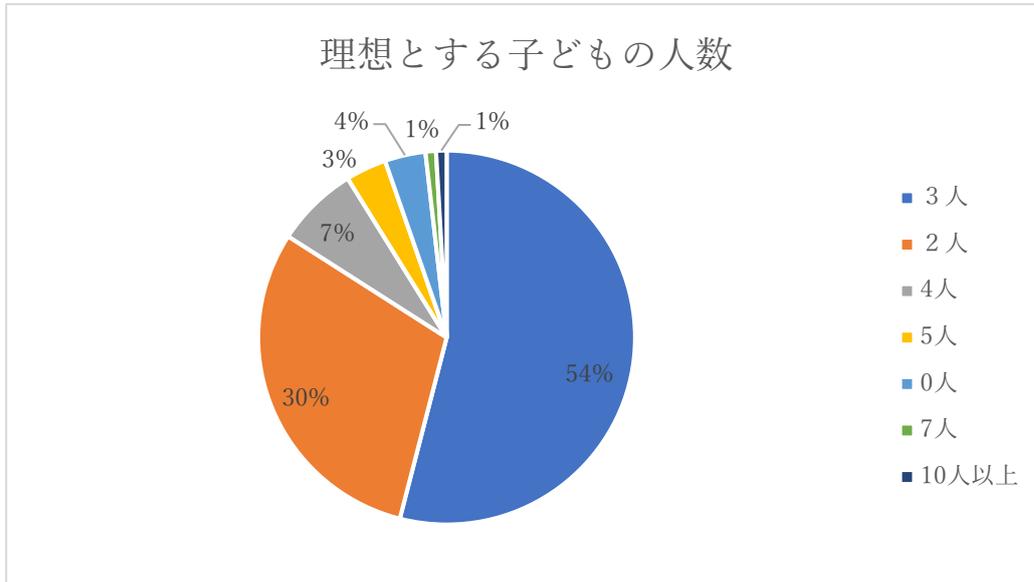


**2 子育てについて**

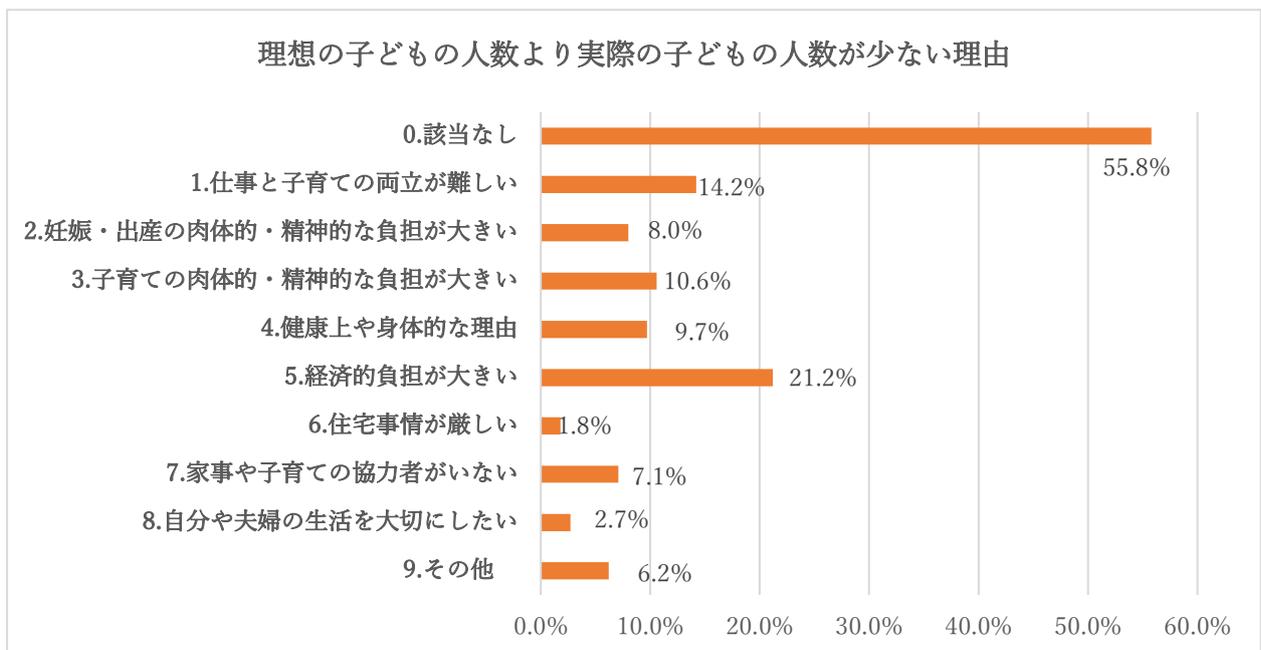
(1) 子どもの学齢、学年及び人数をお答えください。(複数回答)



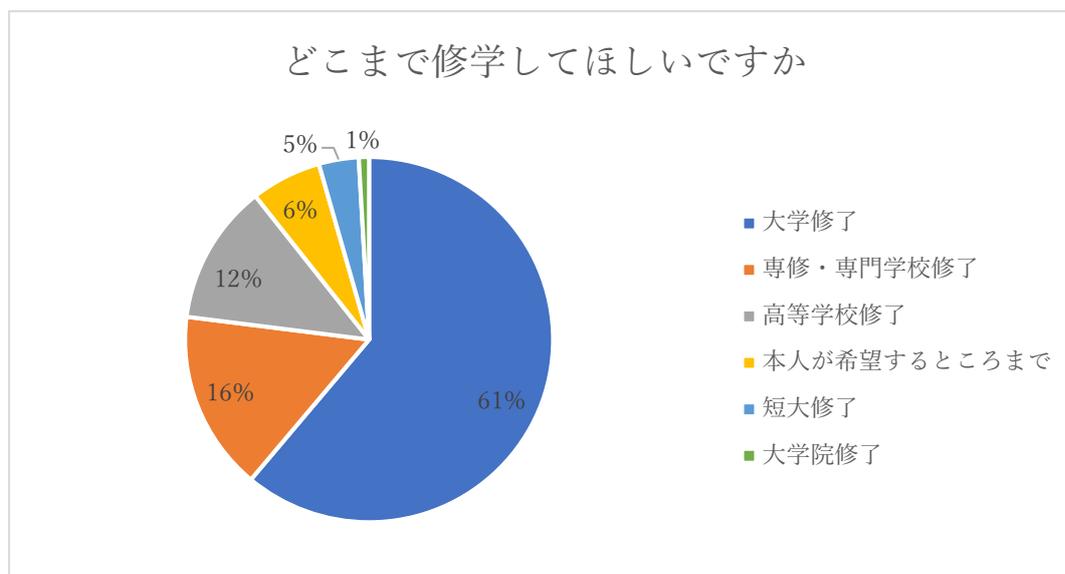
(2) あなたが理想とする子どもの人数は何人ですか。



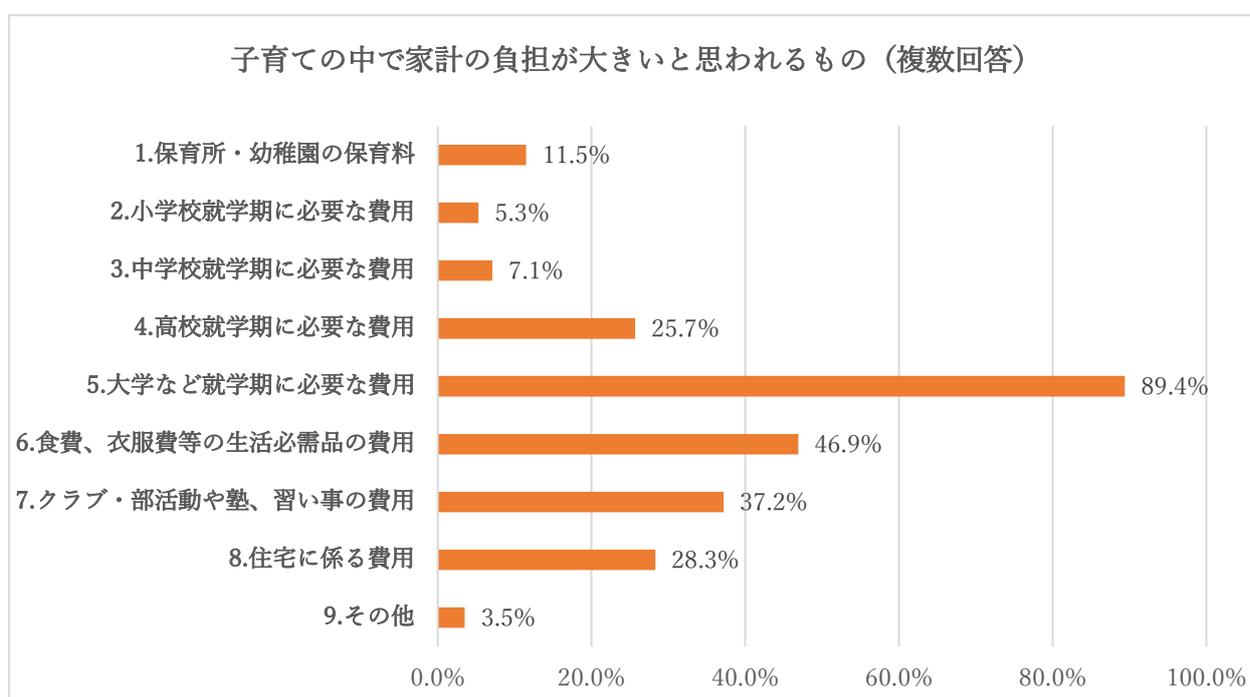
(3) 理想とする子どもの人数より、実際の子どもの人数の方が少ないという方にお聞きします。理想の子どもの人数より、実際の子どもの人数が少ない理由は何ですか。  
 (該当する方は3つまでお選びください)  
 該当しない方は、「0. 該当なし」をお選びください。



(4) お子様について、将来どこまで修学してほしいとお考えですか。

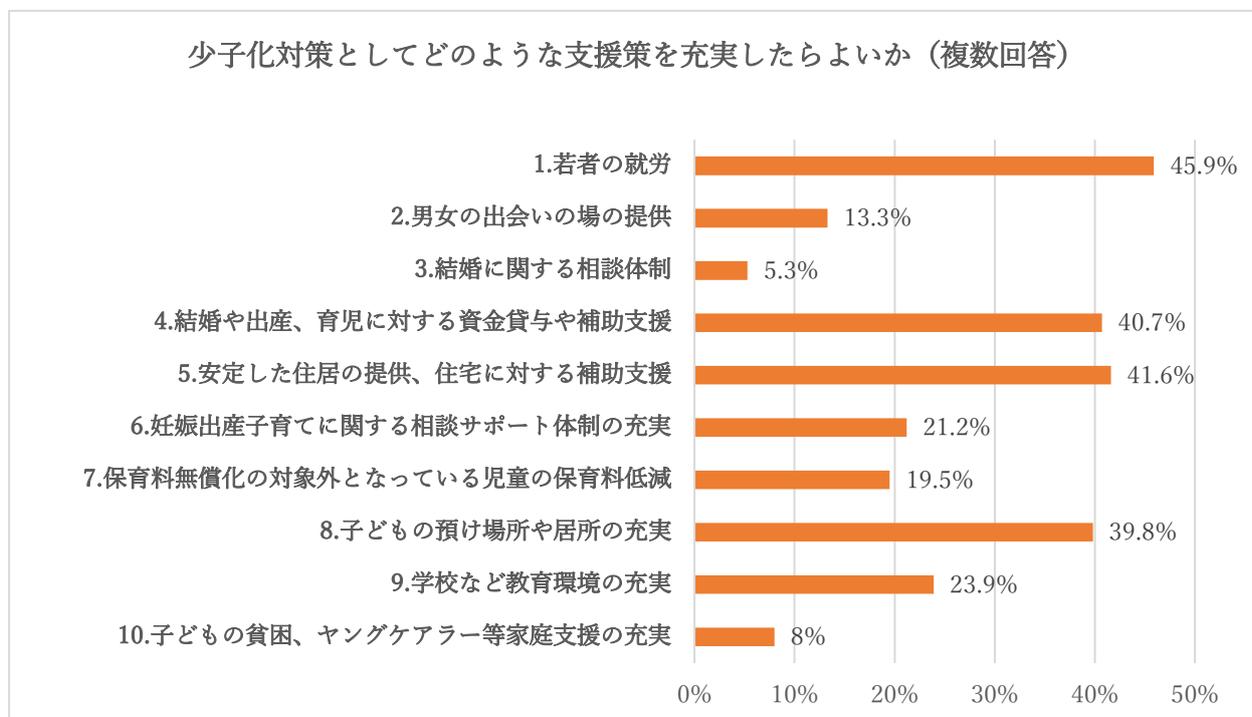


(5) 子育ての中でどのようなことが家計の負担が大きいですか（3つまでお選びください）



### 3 少子化対策について

- (1) 少子化対策として、今後、どのような支援策を充実したらよいと考えますか。  
(3つまでお選びください)



- (2) 生活するうえで、不便さや困ったこと、負担に思うことは何ですか。

(自由記述)

- 冬季間の除雪作業が負担。買い物の利便性が悪い。
- お父さんたちの消防の操法訓練。コロナで近年は無かったり、あっても数日でしたが子育て世代にとっては忙しい夜にお父さんの手がないのは本当に困りました。母の負担でしかないです。
- 習い事への送迎が大変なので、村内で学べる機会が多くあると良い
- 高校生以上の通学方法の不便さ。結局親が送迎するようになってしまう。それにより、進学の実選択肢が決まってしまう事もある。
- 専門の医療機関が近くにない
- 仕事と子育てを両立する中で、子供の体調が悪い時に毎回仕事を休むことが難しく預け先などが無い時に困る。また保育園の病後児保育は使ってみたいが基準がよく分からず使いづらい。
- 昔はこうだったという考えの押し付け
- 天気悪い時も子供と遊べる室内の遊ぶ場所などもっとあるといいなとおもう

- 個人的には一人目育児の時よりも二人目育児の時の方が大変に感じました。相談できたり、話を聞いてくれる相手が欲しかった。
- 村にアパートがなく不便（一軒家を建てるか、親と同居するしかない）
- 近くに稼げる職場が無い

(3)「子育てしやすい環境づくりについて」や「こんな支援策がほしい」等自由な意見をお聞かせください。

(自由記述)

- 小学生以下などお金が掛からない世代に補助するのではなく、お金が掛かるもっと上の世代に補助した方が良いのではないかと思います。
- 就学にあたり、給食費の補助などの、何かしらの費用面の補助があると助かる。今生活出来ていたとしても、子供の将来を考えての蓄えまでは、なかなか難しいからです。
- 出生数を増やすだけでなく、村で生まれた子どもが、大学等を卒業した後に村に生活拠点を有する仕組み（職場、通勤手当等）
- 子どもがまだ幼い時の母親同士の繋がりが大事だと思う。そのきっかけをつくることが行政の大切な役割。
- 散歩で行ける範囲の公園整備。ゲートボール場に隣接するなど、多世代が関わり合えるような。
- 子育てしやすい＝母の負担が減ることだと思います。保育園だけでなく未就園児を数時間預かってもらい母が用を足せる環境(一時預かりよりも気軽に出来るもの)やベビーシッターなど。
- 若者の奨学金返済補助はとて素晴らしい支援策だと思います。村での仕事と村の住む場所が確保されればUターン者も増えるのではないかと思います。
- 中学や高校で使っていた制服やジャージ、小学生の時にそろえた算数セットや鍵盤ハーモニカなど卒業したらゴミになってしまう。もったいないのでリサイクルする方法など考えてほしいと思う
- 集団予防接種は、一回で2種以上打てたりするので一回につき一種類は大変かなと思うところもある。が、スケジュールを組んでいただけるのは本当にありがたいし、他のママさん達との交流にもなるので続けて欲しい。他の市町村はやってないのでアピールして欲しい。
- 子どもの成長に合わせて親も学べる機会。子どもたちも地域の一員として果たす事ができる役割を少しずつ与えて、子どもも住民も win-win の関係になれるような取組や関係づくり。